

「近隣の自然の変化に目を向ける No. 10

バラ・薔薇の魅力はどこに Attractive points of roses」

2020年5月24日

バラの魅力を語るのはおこがましく、何も書けずに困っている。でも、何でなんだろう？と自問した。私は、花の中で薔薇は別世界の存在と長い間思っていた。そのため本気でカメラを向けて来なかった。宮殿の庭に植えられ、毎日おかかえ植木職人によって大事に手入れされ、貴婦人たちが優雅に愛でている情景にまったく心惹かれなかったからか？世界中のバラ愛好家が人生をかけて品種改良を重ね、コンテストで栄誉を受け、特別な名が与えられたエリート花だからか？美しいものを美しいと言えないひねくれた感性を認めたくないからか？とにかく、私にとってバラは花でありながら花として存在しなかった。

とは言え、春の神代植物園のバラ園を同窓生と巡り、埼玉で最大の伊奈バラ園を友人と訪れたことがある。そこで、西欧の宮廷史を飾った女性の名が付けられたバラのオンパレードに、また、大小様々なかたちと色、美しさの多様な姿に見入ってしまった。

そして今、近隣を歩いていると、玄関先に手入れされたいろいろなバラが植えられている。そこで改めてバラに魅力を感じ、カメラを向けて来た。その中で、コロナ禍の最中に咲いていたバラをアルバムに収めた。

http://sengawacx.com/LookNatureN010_2020.jpg